

発言No.

5

受付No.

14

令和 5年 2月 15日

10時 10分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 20 番

氏名 西田清久

答弁を求める者

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 三桜酒造跡地活用の考え方について

- ① 産業建設委員会で、これまでの経過や不動産鑑定評価の結果、市としての考え、今後のスケジュール等の説明があり、その中で跡地は所有者が建物を解体し、更地にした状態が前提で市が取得するとあった。浜田市の歴史と風情を残すこの建物の一部でも残して活用される考えはなかったのか問う。
- ② 更地にして取得されることは、新たな公共施設を整備されようとする考えに基づいてのことと思われる。現在、第2期公共施設再配置実施計画により、公共施設全体の延べ床面積や維持管理費削減額が数値により進捗管理されている。今後の整備計画と公共施設再配置実施計画との整合性についての所見を問う。

### 2 若者・子どもの支援について

- ① 若者対策について若者支援ファンドの創設など積極性を感じるころですが、地域おこし協力隊制度を活用することによって、産業、文化、スポーツ分野などで活躍する若者の移住・定住につなげられようとする具体的な流れについて所見を問う。
- ② 石見神楽の認知度向上について、新年度では東京「深川祭り」での石見神楽公演を計画され、PRとともに浜田市への神楽観光の呼びかけをされることと想像するが、来られた際の“おもてなし”や滞在の仕組みづくりについての所見を問う。

- ③ エキスパート指導者招聘事業について、新年度では野球の全日本代表、侍ジャパンのコーチを招聘される予定だが、この事業の持続性と将来イメージについて問う。
  
- ④ 学校給食について、浜田市では新年度から「オーガニックビレッジ宣言」に合わせて、学校給食で有機野菜や有機米を提供される計画だが、その頻度と給食費に係る影響等の考え方について問う。

発言No.

6

受付No. 20

令和 5 年 2 月 15 日  
10 時 54 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 9 番

氏名 柳楽 真智子

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長  固定資産評価審査委員会委員長  公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 住み慣れた地域で安心して暮らせる取組について

(1) 介護予防について

- ①介護予防日常生活支援総合事業ガイドラインの一部改正（令和4年6月27日）では、短期集中予防サービス（サービスC）を中心とした、生活機能が低下した高齢者に対する取組に重点を置くことが示されていますが、あらためて総合事業に係るA・B・C・Dそれぞれの取組みについて伺います。
- ②地域支援事業実施の一部改正の中で、認知症の人と家族への一体的支援事業が加えられました。「公共スペースや既存施設等を活用して、本人と家族が共に活動する時間と場所を設け、本人支援・家族支援及び一体的支援からなるプログラムを実施することにより、本人の意欲向上及び家族の介護負担感の軽減と、家族関係の再構築を図る」とされています。改正以降の市の取組について伺います。
- ③要介護認定者の内、認知症を発症している人の割合は高くなっています。早期発見・治療により、進行を遅らせることが期待されますが、先日も市民の方が「家族が認知症かもしれないが、どこにどのように相談すれば良いか分からない」と言われ、とても不安そうな様子でした。市では「認知症生活支援の手引き」を作成して、ホームページにも掲載されていますが周知が十分ではないものと感じます。認知症初期集中支援事業の取組状況と、今後の認知症支援に関する周知対策を伺います。
- ④生活支援体制整備事業については、12月定例会議でも取り上げましたが、生活支援コーディネーターの新年度からの体制について伺います。

⑤介護予防の取組を機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する「地域リハビリテーション支援事業」の取組状況を伺います。

⑥ヒアリングフレイル（聞き取る能力の衰え）を、早期の改善により社会的孤立を防ぎ、認知症予防にもつなげるための取組を行っている自治体があります。民間企業の語音聴力チェックアプリを使って検査し、正解率が60%未満の人は言語聴覚士との面談が行われます。早期に発見し改善につなげることは重要なことだと考えることから、浜田市でもアプリの活用に取り組むことができないか伺います。

## （2）引きこもり対策について

①昨年、引きこもりの対策として民間事業者へ事業を委託されたと伺っていますが、委託に至った経緯とこれまでの取組状況を伺います。

## （3）生活支援ガイド作成について

①浜田市では昨年、ホームページのリニューアルが行われ、以前よりも使いやすくなっていると思います。より分かりやすく情報提供するために、現在ある子育て支援ガイドのように、例えば若者世代や中年期、特に高齢者向けのガイドがあると支援が届きやすいと考えますので、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。ご所見を伺います。

## 2. 子どもを支える取組について

### （1）特別な配慮が必要な子どもへの支援について

①児童精神科医の話の中で、特別な教育的支援が必要と判断された児童生徒でも、通級指導を受けている割合は小中学校で24.7%、高校で12.1%にとどまっており、必要となる特別な配慮が行き届いていない状況がある。また、発達障がい疑いがあっても特別な配慮を受けていない児童生徒が多いとの指摘がありました。浜田市での状況を伺います。

②発達障がいの子は集団行動が苦手なため、集団主義の学校では個別の配慮が行き届きにくく、学校に行くことがつらいと感じることは多いとの指摘もあります。集団への適応よりも個人の心理的、身体的、社会的に満ち足りた状態が大切で、進学や就職で苦労しないように無理をさせた結果、不登校になったケースも多いと言われていますが、浜田市の状況を伺います。

③以前、特別支援学級の児童の関係者から、先生が1人しか配置されていないので、全ての子になかなか手が届いていないとの声を伺いました。このことについては担当課にも

伝えさせていただきました。特別な配慮が必要だからこそ、その支援の手もより必要なものと考えますが、この課題についてのご所見を伺います。



発言No. 7

受付No. 21

令和5年2月15日

10時38分受付

一般質問発言通告書

議席番号 12番 氏名 上野 茂

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

市長が今後進めていかれることについて何点か質問をいたします。  
高齢化が進み、集落維持がきびしい状況にあります。特に、買い物、通院などの交通不便地域対策、鳥獣被害の対策、高齢のため、草刈りも自力で行えず業者への依頼も年々増えているのが現状です。

1 農林業の振興について

- ①有機農業を今後全市に拡大していくための取組を伺う。
- ②森林環境譲与税を活用し公共施設への市産材活用と併せ一般住宅等への新たな取組の考えがあるのか伺う。

2 観光・交流について

- ①私が住んでいる旭地区においては、コロナ等の影響で温泉の入込客が減少し、観光に大きな影響を与えると思うが今後の考えを伺う。

3 高齢者福祉の充実について

- ①地域で自立した生活ができ、住みなれた地域で暮らし続けられるように、医療、介護、住まい等、生活支援が一体となった地域包括ケアの充実を図るとあるが職員数等の現状を伺う。

4 道路網の整備について

- ①浜田八重可部線、市道戸地線の早期事業完成への働きかけの状況を伺う。

5 人権を尊重するまちづくりの推進について

- ①市全体における人権尊重の理念の普及と人権尊重のまちづくりを一層推進するための条例を制定するとあるが、これまでの取組を伺う。

6 学校教育について

- ①浜田市のいじめ、不登校の現状について伺う。





発言No.

8

受付No.

3

令和5年2月13日  
3時06分 受付

## 一般質問発言通告書

議席番号 15 番 氏名 岡本 正友

答弁を求める者  
(口をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1・さらなる若者支援策について (SDGs11)

令和4年度の浜田市における出生数が280人程度まで減る見込みが示された。これまでの予想数値をはるかに上回る減少率であり、早急に少子化の原因である「未婚化の進展」や、「晩婚化の進展」及び「夫婦の出生力の低下」について官民あがての対応策を図るべきと考える。

##### (1)若者の出会い・結婚支援について

- ① 令和4年度結婚支援事業の実績と評価・考察を問う。
- ② 若者の交流の場づくりの方策を問う。

##### (2)定住に向けた取組支援について

- ① 小中学校及び高等学校における定住促進への活動の状況を問う。
- ② 協働のまちづくりにおける子育て世代との交流活動の現状を問う。

#### 2・浜田市定員適正化計画(平成30年9月)の見直しについて (SDGs11)

近年、地方分権に伴う国や県からの権限移譲や、市民ニーズの高度化・多様化により、職員の業務量は増加している。また、デジタル化への対応や、共生社会、SDGs 持続可能な社会の実現、そして公共施設の維持・更新などのため、行政の守備範囲は拡大かつ複雑多様化しており、新たな行政課題への対応が求められている。

##### (1)質の高い行政サービスの向上について

- ① 市職員の早期の退職やメンタル不調による休職状況を問う。
- ② 定員適正化計画の進捗管理における課題を問う。

##### (2)障がい者雇用の促進について

- ① 市役所における事業種区分の法定雇用率の現状を問う。
- ② 就業可能な職場の検討及びサポート体制の強化策を問う。



発言No. 9

受付No. 11

令和 5 年 2 月 15 日

9 時 34 分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 1 番

氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

### 1 若者対策について

#### (1) 若者支援ファンドの創設による若者向け支援について

- ① 施政方針にある若者対策の現状について伺う
- ② 若者支援ファンドの意義について伺う
- ③ 若者支援ファンドは今後 3 年間の事業とあるが、期間の根拠について伺う

### 2 ふるさと郷育について

- ① 地域と学校の協働活動の現状を伺う
- ② 活動を通して出来上がったものを、デジタル化し保存する考えがないか伺う



発言No. 10

受付No. 12

令和5年2月15日

10時00分 受付

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長  
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

### 発言項目及び要旨

#### 1、人口定住施策の推進について

- ① これまでのシングルペアレントUターン事業、地域おこし協力隊、石見音楽文化振興会事業など、それぞれの浜田市へのUターン者のうち、現在も定住している人数はどのくらいで、どう定住が進んでいるのか、定住が進まなかった要因をどのようにとらえているのか。
- ② 三隅発電所が本格稼働したが、そこに働く従業員は300人とも400人ともされているが、定住状況はどうか、家族持ちで住宅に住む人、単身で寮などに入居する人などの実態はどのようになっているのか。

#### 2、大学などをいかした市政推進について

- ① これまで、大学との共同プロジェクトなどどのようなものがあって、どのようにいかして、市政を推進してきたのか、具体例を挙げて説明いただきたい。
- ② 人口定住対策を進めるためには、各専修学校の定員を確保すること、専修学校への支援が重要であるが、4月入学者見込みはどのようになっているのか。

#### 3、協働のまちづくりを推進する具体的な施策について

- ① 協働のまちづくりを進めるためには公助の責任が重要であるが、地域からの要望事項提出の仕組みを復活してはどうかと質問し、市長から「検討する」と答弁されているが、その後の状況はどうか。
- ② 協働のまちづくりを進めるためには、その基盤、足下をきちんと整える必要があり、自治会町内会の加入率を75%と推計されており、一方、社会福祉協議会の加入率は72%であるが、これらをも高めるために具体的にどのような対策を講じてきて、これからどうするのか。
- ③ まちづくりセンター職員体制の拡充、開館時間の延長、土日の開館など協働のま

ちづくりが進む体制をつくる必要があるが、どのようにするのか。

- ④ 協働のまちづくり推進には、地域のあらゆる資源、人材の参画が必要であるが、自主防災組織の機能を高める、活動領域を広げる、住民の理解と協力を得る、という視点から、益田消防、出雲消防などで取り組んでいる、消防団員のOB会の組織化を進めてはどうか。

#### 4、市民の社会参加を進め、快適な環境整備について

- ① 公園、スポーツ施設などの洋式トイレの設置はどのようになっているのか。
- ② 公共施設、まちづくりセンターなどでのスロープ、手すり、洋式トイレなどバリアフリー化はどのように整備されているのか、未整備の箇所はどの程度あるのか。

#### 5、歴史文化施策の推進について

- ① 市史編纂の計画はどのようになっている、その進捗状況はどのようになっているのか。
- ② 教育委員会が支援をして津和野藩物語、中世益田物語などが発刊されているが、浜田藩物語の発刊について、市としてどのような支援を行うのか。